

令和4年度 鳥取大学入学者選抜試験問題
(学校推薦型選抜Ⅱ)

小論文

(農学部 共同獣医学科)

出題の意図

出題の意図

問題 1.

題材は 2016 年に出版された「ニワトリ 人類を変えた大いなる鳥 (Andrew Lawler 著、熊井ひろ美訳)」という図書からの抜粋を一部改変したものである。抜粋した箇所は平易な文章であり、高等学校で共通に学ぶ基礎的知識があれば十分に理解できる内容である。問題文はやや長めだが、与えられた時間内に解答できる範囲であり、基礎的知識、文章読解力、論理的思考力、洞察力、表現力などを判断し、獣医師を志す受験生として備えるべき力を有しているかについて総合的に評価する意図をもって出題した。

問 1. 獣医師を志す受験生として持っていてほしい基礎的知識と漢字力を問う。

問 2. 文章読解力と論理的思考力を問う。

問 3. 基礎的知識に加えて、文章読解力と発想力を問う。

問 4. 基礎的知識と洞察力を問う。

問 5. 文章読解力に加えて、論理的思考力と洞察力を問う。

問 6. 文章読解力を問う。

問 7. 文章読解力と科学的発見を端的に表現する力を問う。

問 8. 文章読解力に加えて、論理的思考力と表現力を問う。

出題の意図

問題 2.

題材は一般の読者を対象にして Scientific American に記載されたタンパク質の構造に関する文章の一部である。本設問文は、生物学の基礎であるタンパク質の構造と機能に関するこれまでの科学者の考え方、将来的な視点について記載されている。全体的に平易な英文で構成されており、獣医師を志す受験生であれば容易に読みこなすことが出来る。また答えの大部分は本文中にある。設問では、基本的な英文読解力、生物学の基礎知識および理論的な思考を問うことを目的とした。

問 1. 文章の読解力、英文内容の理解度及び日本語での文章校正能力を問う。

問 2. 文章の読解力、文章中の表現に対する考察力を問う。

問 3. 英語能力を問う。

問 4. 英文読解能力および内容の理解度を問う。

問 5. 生物学の基礎的知識を問う。

問 6. 文章の読解力と主題に対する理解度を問う。

問 7. 文章の読解力、文章中の表現に対する考察力を問う。

問 8. 重要語句に着目できているかを問う。

問 9. 生物学の基礎的知識を問う。